

令和5年度 地理歴史・公民科「地理総合」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	全科 2年A～C組
教科書	地理総合（実教出版）	副教材等	「地理総合演習ノート」（実教出版）

1 学習の到達目標

<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次ぎのとおり育成することを目指す。</p> <p>地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を見に付けるようにする。</p> <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境と相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>地理に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多方面・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本文化としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。</p>

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6 7	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会	球面と平面 緯度と経度 日常生活の地図 国家の領域 日本の位置と領域 国家間の結び付き モノ・情報のグローバル化 世界の交流、物流と日本 観光のグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどに付いて理解する。 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や構成などについて理解する。 ・現代世界の様々の地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身につける。 	<p>[知識・技能] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p> <p>[思考・判断・表現] 小テスト、定期考査。ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 活動の様子の観察、レポート、口頭発表など。</p>
9 10 11 12	第2編 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 第2章 地球的課題と国際協力	自然環境と生活 産業の進展によって変化する生活文化 宗教に基づいた生活文化 国家・民族・言語の結び付きと生活文化 移民とともに形成される生活文化 地球的課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の人々の特色ある生活文化に、基に、人々の生活文化が地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解する。 	<p>[知識・技能] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p> <p>[思考・判断・表現] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 活動の様子の観察、レポート、口頭発表など</p>
1 2	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然災害と防災	自然災害と防災	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害の規模や頻度、地域 	<p>[知識・技能] 小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p> <p>[思考・判断・表現]</p>

3	第2章 地域調査	地域調査	<p>性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p>・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。</p> <p>・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。</p>	<p>小テスト、定期考査、ノートやワークシートの記述点検、発言等の行動観察など。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <p>活動の様子の観察、レポート、口頭発表など。</p>
---	----------	------	---	--

3 評価の観点

知識・技能	日常生活の中で見られる様々な地図の表現法や読図などの知識を理解している。国家やモノ・人・情報の結び付きや移動について理解し、現代社会の様相を把握することができている。さらに、関連する地理情報を収集することができている。
思考・判断・表現	世界の国境の違いや国境をめぐる問題について地理的な見方・考え方に基づいて考察し、複数の視点から主題を判断し、地図や文章で表現できている。国家やモノ・人・情報の結び付きや移動について地理的な見方・考え方に基づいて考察し、複数の視点から主題を判断し、地図や文章で表現できている。また、世界の諸地域で生じている課題を追究してその解決策を考え、提示できている。
主体的に学習に取り組む態度	地球儀や様々な地図から世界や地域の課題を読み取り、興味関心をもち、学習を振り返りながら知識の調整・定着をはかろうとしている。

4 評価の方法

【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

地理を学ぶ意義を確認するとともに、現代世界の地理的認識を深め、地図やGISなどに関わる汎用的な地理的技能を身に付けて頂きたい。自然と社会・経済システムの調和を図った、世界の多様性のある生活・文化について理解して貰いたい。地球規模の諸課題とその解決に向けた国際協力の在り方について考察して頂きたい。日本国内や地域の自然環境と自然災害との関わりについて考察して欲しい。持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい夜会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度が、公民としての資質・能力の育成に関わっていることを理解して頂きたい。グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸問題への対応を考察して貰いたい。